



エコアクション21

認証・登録番号0009025

2022年度

環境経営レポート

活動期間（2022年4月～2023年3月）



本田鐵工株式會社
HONDA MACHINERY WORKS CO., LTD.

発行日 2023年10月

目 次

0. ご挨拶	2
計 画 の 策 定 (Plan)	
1. 組織の概要	3
2. 対象範囲	5
3. 環境経営方針	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営計画	8
計 画 の 実 施 (Do)	
6. 環境経営目標の実績	9
取 り 組 み 状 況 の 確 認 及 び 評 価 (Check)	
7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価	11
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	15
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟などの有無	16
全 体 の 評 価 と 見 直 し (Act)	
10. 代表者による全体評価と見直し結果・指示	17

0. ご 挨拶

私たち本田鐵工株式会社は、会社理念である「混練・成形がものづくりを変える」を基本として、混練機・成形機メーカーとして地球環境の保全と豊かな社会づくりに貢献することを目指しています。

1920年の創業以来培ってきた混練・成形ノウハウはものづくりの職場から環境対策まで、様々な分野で活かされてきました。

本田鐵工株式会社 役員、従業員一同は、これからも社業の発展を追求することで、顧客満足度向上に努め、地球環境と持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役 **本田篤彦**

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

本田鐵工株式会社 代表取締役 本田 篤彦

(2) 所在地（本社・本社工場）

〒447-0854 愛知県碧南市須磨町5番地16

(3) 会社概要

- 創業 1920年
- 資本金 10,000千円
- 従業員数 27名
- 延床面積 3542.39㎡
- 年間売上高 335百万円（令和4年12月期）
（参考）環境経営活動期間売上 295百万円
- 事業内容 産業機械・プラント機械の製造、販売



TMH型混練・成形機

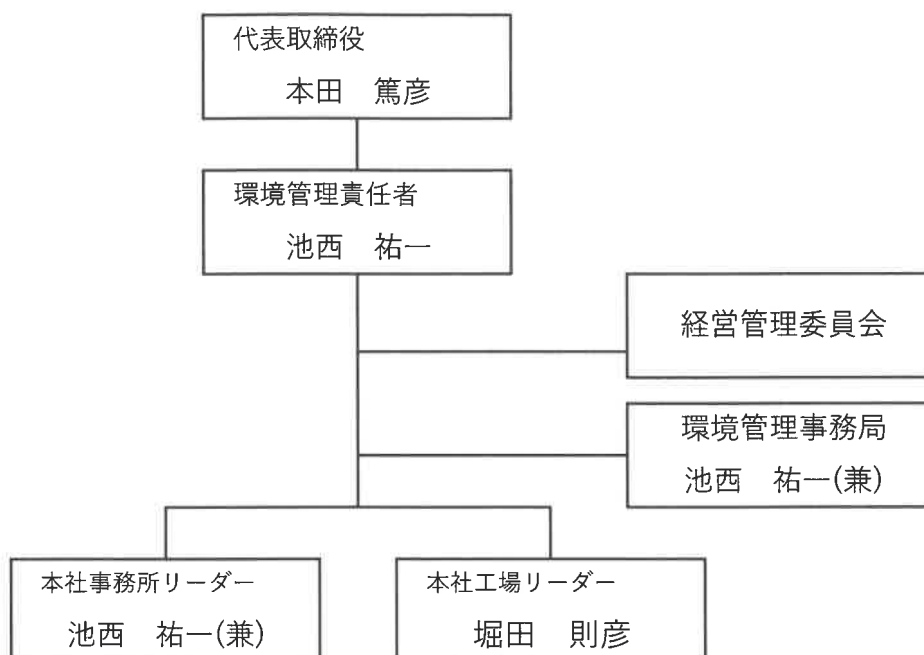


CKE型連続混練真空押出成形機

(4) 環境管理責任者及び連絡先

- 環境管理責任者 池西 祐一
- 連絡先
TEL (0566) 42-8111
FAX (0566) 42-0881
URL <http://www.honda-m-w.co.jp>
E-mail ikenishi@honda-m-w.co.jp

(5) 環境経営活動組織図及び役割



役 職	役 割 、 主 な 責 任 と 権 限
代 表 取 締 役	環境管理システムの総責任者 環境経営方針を定める 環境管理責任者の任命 資源（人員・設備・費用）の準備 全体の取り組み状況の評価と見直し
環 境 管 理 責 任 者	環境経営計画立案・教育の実施 実施状況の確認 環境経営活動の取り組み結果を確認 環境委員会の開催 環境経営レポートの確認
環 境 管 理 委 員 会	環境経営計画立案・教育の実施 環境経営レポートの確認
環 境 管 理 事 務 局	文書の作成管理 システム運用上の事務管理 環境経営計画実施の実績集計 環境経営レポートの作成
事 務 所 リ ー ダ ー 工 場 リ ー ダ ー	環境経営目標を達成するための活動の 推進・提案
全 従 業 員	自主的・積極的に環境活動への参加

2. 対 象 範 囲

(1) 認証・登録範囲

- 認証・登録事業者 本田鐵工株式会社
愛知県碧南市須磨町5番地16
- 事業活動 産業機械・プラント機械の製造、販売
- 対象事業所 本社・本社工場
- 認証・登録範囲 全組織・全活動
- 対象従業員数 27名(代表取締役、パート、契約社員含む)

(2) 環境経営レポートの対象期間

この環境経営レポートの対象期間は2022年4月1日から2023年3月31日です。

次回は2023年4月1日から2024年3月31日までを対象とする環境経営レポートを2024年8月末頃発行する予定です。

3. 環境経営方針

本田鐵工株式会社 環境経営方針

[環境理念]

本田鐵工株式会社は、産業機械・プラント機械の提供を通じて、地球環境の保全、豊かな社会づくりに貢献し、継続的改善を制約することを目指します。

[環境経営方針]

- (1) 地球環境向上のために、技術と製品の開発を行い、社会に提供いたします。
- (2) 全社員を地球環境向上に対し意識の向上を図ります。
- (3) リサイクル事業を推進し、省エネ資源に取り組みます。
- (4) 環境に関する法規並びに規制基準を遵守するとともに、関連する社会的要求を遵守します。
- (5) 化学物質の管理と削減に取り組みます。
- (6) グリーン購入に取り組みます。

管理番号：EA21 102

制定日：2009年 4月10日

改定日：2022年 1月10日

本田鐵工株式会社

代表取締役 本田 篤彦

4. 環境経営目標

環境経営目標・取り組みの基本的方針

事業活動における環境への負荷を把握評価する。また生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスを目標とし、環境への負荷が大きいと考えられる二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、化学物質使用量の削減及び、グリーン購入活動などに重点的に取り組みます。

(1) 数値目標

2018年度から2020年度の平均実績を基準値として下記の削減目標で改善する。

(労働時間100時間あたり)

取 り 組 み の 項 目	基準値	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量の削減					
①電力使用量の削減			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	271.61	Kwh/100h	268.89	266.18	263.46
	128.74	kg-Co2/100h	127.46	126.17	124.88
②燃料使用量の削減			1 %削減	2 %削減	3 %削減
1) ガソリン	5.16	ℓ /100h	5.11	5.06	5.00
	11.99	kg-Co2/100h	11.87	11.75	11.63
2)軽油	1.03	ℓ /100h	1.02	1.01	1.00
	2.69	kg-Co2/100h	2.67	2.64	2.61
産業廃棄物排出量の削減			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	4.95	kg/100h	4.90	4.85	4.80
水使用量の削減			1 %削減	2 %削減	3 %削減
	0.538	m3/100h	0.533	0.527	0.522
化学物質使用量の削減			適正管理	適正管理	適正管理
	2.59	kg/100h			
グリーン購入	88.00	%	80%以上	80%以上	80%以上

目標値については以下の通りとする。

- ・化学物質使用量については、数値での削減目標の設定が困難なため、適正管理を目標とする。
- ・グリーン購入については、毎年80%以上を目標とする。

5. 環境経営計画

各目標については担当者を決め、手順書・記録表を使用し、目標達成の手段とする。
また、月1回達成の評価を行なう。

■ 目標 1

電力、ガソリン、軽油の使用量を2018年度から2020年度の平均実績を基準として、100労働時間あたり（原単位）2%削減する。

- (1) 昼休み、時間外消灯により節電を推奨する。
- (2) エアコンの温度管理を行なう。
- (3) エコドライブを推進し、節エネルギーを推進する。

■ 目標 2

産業廃棄物排出量を2018年度から2020年度の平均実績を基準として、100労働時間あたり（原単位）2%削減する。

- (1) 処分廃棄物とリサイクル廃棄物の分別を徹底する。
- (2) 金属廃棄物はリサイクル業者に引き取り依頼する。
- (3) 段ボール箱、新聞、雑誌はリサイクル業者に持ち込む。

■ 目標 3

水使用量を2018年度から2020年度の平均実績を基準として、100労働時間あたり（原単位）2%削減する。

- (1) 節水表示を設置し、節水意識の向上を図る。
- (2) 蛇口等の定期点検を行ない、余剰な使用量を削減する。

■ 目標 4

化学物質は適正管理を目標とする。

- (1) 在庫量を把握し、余剰な購入を控える。
- (2) 容器の密封状態を確認し、余剰な消費を削減する。

■ 目標 5

グリーン購入の促進

- (1) 事務用品のエコマーク商品件数を購入件数全体の80%以上とする。

6. 環境経営目標の実績

■ 実 績

取 り 組 み 項 目		基 準 (2018年度から2020年度の平均値)			実 績			
		基 準 値	単 位	削減目標	実 績	削減率	評 価	
二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	271.61	Kwh/100h	2.00%	238.40	12.23%	◎	
		128.74	kg-CO2/100h		113.00			
	②燃料使用量の削減	ガソリン	5.16	ℓ/100h	2.00%	4.61	10.66%	◎
			11.99	kg-CO2/100h		10.71		
	軽油	1.03	ℓ/100h	2.00%	0.38	63.11%	◎	
		2.69	kg-CO2/100h		1.00			
廃棄物排出量の削減		4.95	kg/100h	2.00%	8.79	-77.58%	×	
水使用量の削減		0.538	m3/100h	2.00%	0.502	6.69%	◎	
化学物質使用量の削減		2.59	kg/100h	適正管理	2.29	—	○	
グリーン購入		88.00	%	80%以上	86.000	2.27%	○	

■ 注 記

(1) 評価の基準は下記の通りです。

◎	目標を大幅に達成 削減率3%以上 グリーン購入83%以上	○	目標達成 削減率2%以上 ※グリーン購入80%以上	×	目標未達成 削減率2%未満 ※グリーン購入80%未満
---	------------------------------------	---	---------------------------------	---	----------------------------------

(2) 2022年度総労働時間は46,400時間です。(2021年度 47,274時間)

(3) 電力使用量から二酸化炭素排出量への換算は、2009年度中部電力公表値の0.474kg-CO2を使用して計算しています。

(4) 二酸化炭素排出量の2022年度実績値は64,141kg-CO2です。

■ 参 考 環境負荷総重量実績

取 り 組 み 項 目		単 位	平均実績 (2018-2020)	2021年度	2022年度
二酸化炭素		kg-Co2	70,045	67,552	64,141
①電力使用量		Kwh	121,143	116,330	110,618
②燃料使用量	ガソリン	ℓ	2,303	2,174	2,140
	軽油	ℓ	458	226	177
廃棄物排出量		kg	2,205	1,506	4,081
水使用量		m3	240	236	233
化学物質使用量（トルエン）		kg	891	896	831

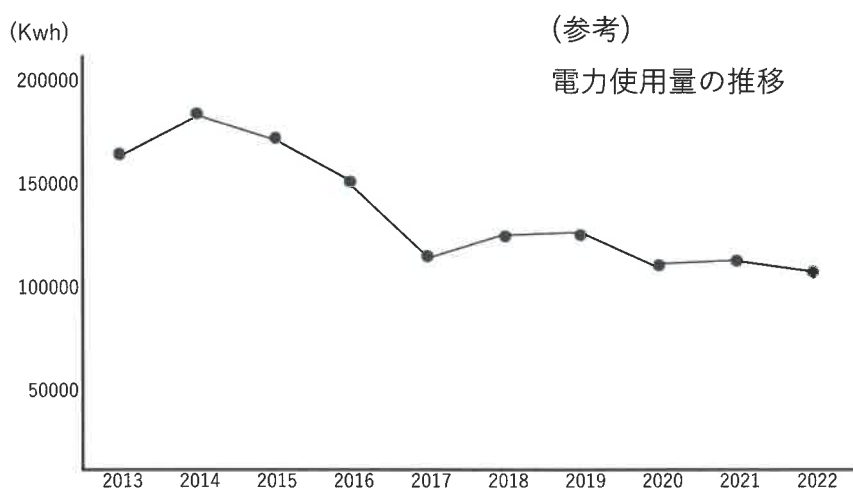
7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価

今回の評価は2022年4月から2023年3月までの第2年次期間としています。

■ 目標 1

(1) 電力使用量の削減

100労働時間あたり電力使用量は12.23%の削減と目標を達成。
電力使用量は昨年度より年間で5,712Kwh（4.9%）減っています。
結果として二酸化炭素排出量を2,707.5kg-Co2削減しました。



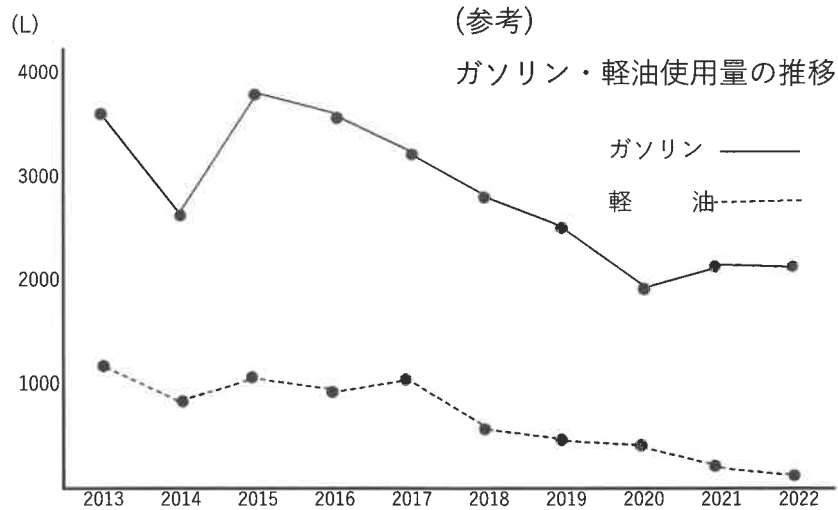
工場、事務所の照明LED化、省エネエアコンの導入が完了した段階で電力使用量については仕事量との相関関係が大きいが、照明の昼休み消灯活動、節電、エアコン温度等管理を表示、温度計を設置するなどして徹底管理を継続して行っています。

(参考) 表示の実施例



(2) 燃料使用量（ガソリン・軽油）の削減

ガソリン、軽油とも100労働時間あたり使用量は大幅に目標達成。
ガソリン使用量はほぼ昨年と同量(1.5%減)でしたが、トラック使用が少なく軽油使用量は大幅に減少(21.7%減)しました。
結果として二酸化炭素排出量は204.8kg-Co2減少しました。



電力同様仕事量、及び出張等仕事内容との相関関係が大きい。
車種及び台数は5年間変更ありません。
エコドライブ、アイドリングストップ等の遵守を管理表により継続して行なっています。

■ 目 標 2

(1) 処分廃棄物(産業廃棄物)の削減

一般、産業廃棄物合計は100労働時間あたり77.88%増と目標の達成ができませんでした。増加要因は昨年度まで無料で回収してもらえたパレット類が回収不可となったこと、あわせて樹木の剪定を自社にて行ない合計2,140kgを産業廃棄物(木くず)として処理したためです。今年度の廃棄物内訳は以下の通りです。

(参考) 廃棄物の内訳

内 訳		排出量(kg)	収集運搬・中間処理業者
一般廃棄物 (焼却ごみ)		1,220.7	コスモクリーンサービス(株)
産業廃棄物	廃塗料	360.0	富士石油運輸(株)
	クーラント駅	360.0	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
	木くず	2,140.0	コスモクリーンサービス(株)
	小 計	2,860.0	
廃 棄 物 合 計		4,080.7	
(木くずを除く合計)		1,940.7	

木くずを除く一般、産業廃棄物合計は100労働時間あたり4.18kgとなり、15.6%の削減となります。

(2) 金属廃棄物

金属廃棄物は種類ごとに分別管理し、リサイクル業者に売却処分を依頼しています。本レポート対象期間において3回実施しました。内訳は下記の通りです。

(参考) 金属廃棄物リサイクル

内 訳	1	2	3	計
鉄屑	1,500.0	180.0	120.0	1,800.0
ステン屑	150.0	22.0	50.0	222.0
鋼ダライ	1,230.0	1,560.0	1,490.0	4,280.0
その他	1,015.0	68.0	60.0	1,143.0
合 計	3,895.0	1,830.0	1,720.0	7,445.0

(2) 段ボール箱、新聞、雑誌類

段ボール箱は自社商品配送時に再利用しています。

再利用できない段ボール箱、新聞、雑誌類は自社にてリサイクル業者に持ち込み、処分を依頼しています。

■ 目 標 3

(1) 水使用量の削減

当社では工場工程で水を使うことが少ないため、ほとんどが生活水での使用となるため、節水表示等設置し、節水に努めています。100労働時間あたり6.69減となり、目標が達成できました。昨年比でも3 m³(1.28%)少なくなっています。

(参考) 表示の実施例



(2) 蛇口等の定期点検

蛇口等の定期点検時に発見及び従業員から連絡があった場合は、水栓パッキン、ケレップの交換を速やかに行ないました。

■ 目 標 4

(1) 化学物質の管理

定期的点検、使用量の把握に努め、適正管理は続けています。

使用量も仕事量の影響もありますが減少しました。。

(2) 容器の密封状態等

定期的点検を行なっています。

■ 目 標 5

(1) グリーン購入の促進

事務用品のエコマークの付いた製品を積極的に選び購入した結果

目標を達成できました。

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2018年度から2020年度の平均実績を基準値として下記の削減目標で改善する。

(労働時間100時間あたり)

取 り 組 み の 項 目	基 準 値	単 位	2023年度 目 標	2023年度環境経営計画
二酸化炭素排出量 の削減				電力、ガソリン、軽油の管理 を引き続き継続。 全社員の更なる地球環境への 意識を向上させる。
①電力使用量の削減	271.61	Kwh/100h	3%削減 263.46	引き続き、管理表を作成し 使用状況を把握。 従業員の節電意識の更なる 向上を目指す。
	128.74	kg-Co2/100h	124.88	
②燃料使用量の削減			3%削減	引き続き、管理表を作成し 使用状況を把握。 従業員のエコドライブ、 アイドリングストップ等 省エネドライブ意識の向上 を目指す。
1) ガソリン	5.16	ℓ/100h	5.00	
	11.99	kg-Co2/100h	11.63	
2) 軽油	1.03	ℓ/100h	1.00	
	2.69	kg-Co2/100h	2.61	
産業廃棄物排出量 の削減	4.95	kg/100h	3%削減 4.80	処分するものとリサイクルす るものの分別を徹底。
水使用量の削減	0.538	m3/100h	3%削減 0.522	水道設備の管理の徹底。 表示等により節水意識の向上 を図る。
化学物質使用量の削減	2.59	kg/100h	適正管理	在庫を常時確認し、余剰購入 を防ぐ。 管理表にての適正管理を徹底 する。
グリーン購入	88.00	%	80%以上	グリーン購入の継続

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

■ 適用となる主な環境関連法規と該当する活動

適用となる主な環境関連法規	該当する活動
(1) 環境基本法	事業活動全般
(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理
(3) 家電リサイクル法	テレビ、エアコン等のリサイクル
(4) 小型家電リサイクル法	携帯電話、デジカメ等のリサイクル
(5) 自動車リサイクル法	使用済み自動車の引渡義務
(6) 資源の有効な利用の促進に関する法律	パソコンのリサイクル
(7) フロン排出抑制法	エアコンの点検、修理、廃棄
(8) 浄化槽法	浄化槽の運用
(9) 愛知県民の生活環境の保全等に関する条例	自動車の運転、駐車場の運用
(10) 碧南市公害防止協定	騒音、振動、水質汚濁防止対策
(11) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	シンナー(トルエン、キシレン等)及び塗料の管理
(12) 毒物及び劇物取締法	シンナー(トルエン、キシレン等)の管理
(13) 消防法	シンナー(トルエン、キシレン等)塗料、油の指定数量内の自主管理

■ 違反、訴訟の有無

上記関連法規については、遵守状況を管理表等により確実に法規を遵守していることを確認しました。

また過去3年間、関係各機関から指摘や指導はなく、訴訟もありません。

10. 代表者による全体評価と見直し結果・指示

	項 目	環 境 管 理 責 任 者	代 表 者
		報 告 事 項	評 価 ・ 見 直 し 結 果 ・ 指 示
①	法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項の遵守	環境法規制遵守リストにより法規を順守していること確認しました。	法規は必ず遵守すること。
②	苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション	外部からの苦情等はありませんでした。	外部よりの苦情がないよう、細心の注意を払うこと。
③	当社の環境パフォーマンス (環境改善計画・実績)	電力・燃料・水使用量については目標を達成できたが、廃棄物に関しては、木くず処理のため目標達成できませんでした。	社内美化、産業廃棄物の基準に則り処分した結果ではあるが、結果は結果として真摯に受け止めるように。
		二酸化炭素排出量は基準値比で8.4%、昨年比5%削減した。	仕事の量で変わってくるが、社員一人一人が環境に関する意識を持っていると評価する。
④	目標を達成している程度 (3年間の目標について)	3か年計画の第2次年度でしたが、一部未達のものがありましたが、3か年での目標達成を目指します。	今後も継続して目標達成に取り組むこと。
⑤	是正処置及び予防処置の状況	今年度内において、是正処置、予防処置に該当する案件はありません。	今後も注意を払うこと。
⑥	環境関連事項、法的及びその他の要求事項の進展を含む変化している周囲の状況	今年度内において、特にありません。	問題なし。

環境経営方針

変 更 な し

変 更 あ り

環境経営目標・計画

変 更 な し

変 更 あ り

実施体制他

変 更 な し

変 更 あ り